



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第105号】



寒風の中、マラソン大会で力走する6年生女子

平成元年度総集編号

平成元年度を

ふり返って

育友会長

相良 耕作

昨年四月に会長をお受けして、前松尾会長の偉大さの後に、なんと自分が小さなものか痛感させられました。

しかし、友永・松崎両副会長初め、常任委員・代議員の皆様、伊藤校長先生初め先生方の絶大なる御協力に依りまして、この一年を無事に務める事が出来、心から感謝を申し上げます。

年頭「大願の年」という事で皆様へお願い致しました。親にとって大願とは、子ども達が明るく健やかな成長する事でありませう。私たちは、人間としてなげ生まれてきたかという事の一つの証として、色々な「使命」を持っておりませう。

「使命」——私流に解釈すれば、欲得を乗り越え、金銭では計ることの出来ない善行を推進することである。

親になった以上、子どもを使命感を持って育てるべきなのですが、日常の繁雑さに取りまぎれて、ややもすると、忘れてしまっている事が多いのではないのでしょうか？その延長上に育友会があり、その土台を確認しながら、育友会活動を展開するべきであると痛感致しました。

私だけだと思いますが、会長を受ける時、仕事の間に出来る時だけ活動すればいいなどと気軽に引き受けてしまい、皆様の迷惑を顧みず、一年を過ごしてしまった様な気がします。

今年度の三小育友会は、校内の本来の事業はもとより、十年に一度の島原市PTA連合会の当番校として、全市のな行事を何回も消化していただき、役員の皆様方には重複した職務を適切に務めていただきました。

とにかく平成元年度は、皆様方の温かい御支援で終了する事が出来ました。次なる平成二年度が、三小育友会にとって輝やかしい年になる事を期待致しまして、この一年のお礼と致します。

床座施

伊藤 富幸

仏典に「雑宝蔵経巻七」という書があり、その中に「無財の七施」という言葉があるそうです。それは、無財であるから人間お金がなくてもいい、何が無くても人として生まれた以上、第三者に対して七つの施しをすべしとの教えだそうです。

床座施は七施の一つで、いつも休んでいる所、いつも座っている所を整理整頓し清潔にして、いつ誰がそこに現われようとも、いつも気持ちよく迎え入れることの出来る施しのことだそうです。

三小では、本年度・重点努力事項の一つとして生徒指導の充実を掲げ、基本的生活習慣の形成に努力してきました。現在の三小児童に欠けているもの四項目を取りあげ、「三小しつけの四原則」として徹底させたい実践事項として指導しています。

四原則の中に、「気持ちよいきれいなトイレのスリッパの整理整頓」があります。皆さんが気持ちよく使えるように、出船式の並べ方を指導していますが、なかなか徹底できません。並ばないというより、あきれられるほどの散乱ぶりです。

全校朝会等で注意しますと、一時的にはよくなりますが、すぐもとに戻ります。この一年間、児童と教師の根気比べでした。

しつけには、「忍耐」「くり返し指導」「根気比べ」の必要性を感じながら、寒気厳しいある日の業間時にトイレに行きますと、低学年の児童が乱れたスリッパを手できれいに揃えているのを見ました。「ほほう……感心だね」と声をかけますと、「だって、うちのお母さんはいつもこうするもん……。」と応えるのです。

その清々しい輝く瞳を見ながら、金で買えない最も大切なものを、すばらしい教育法で指導されているお母さんの姿を思い浮かべながら、心温まる思いがしました。

子供は、親の背を見て育つと言われますが、子供へ立派な無財の施しをしておられるお母さん、また、私にすばらしい施しをしてくれた児童に心から感謝します。

この無財の施しをしつかり行くと、仏様からごほうびが出るそうです。それをお布施というそうです。



学校給食調理研修会を終えて

保健給食部長

光 永 勝 子

二月五日(月曜日)、三小家庭科室において、学校給食研修会を行いました。

実習献立は、学校給食の中にある献立の中から四種選んで実習しました。

参加されたお母様は、二十名と少ない人数でしたが、島原教育委員会の栄養士・前森聖子先生を迎え、楽しくなごやかな一日を過ごしました。

実習の後の懇談会でも、家庭の食生活での心配事や、少しづつ進められようとしている中学校での学校給食の話など、ためになるお話をしていたとき、本当に有意義な一日を過ごすことができました。

実習献立も、島原名物の具雑煮を主にして、わかめご飯酢物、フルーツのオレンジソースあえと、バラエティーに富んでおり、参加されたお母様に、喜んでもらえたと思います。

この研修会を開催するにあたって、ご協力いただきました先生方、ならび給食部員の皆様、ありがとうございました。

校内マラソン大会の結果

雨天のため延期された校内マラソン大会が、二月二日、たくさんのお父さん・お母さん方が見守る中、開催されました。

(一年) 男子

①あら木ゆうぞう

②とくながしようこ

③うち田たくろう

(二年) 女子

①いずみかなこ

②みつおまりこ

③かわ田みさ

(二年) 男子

①松尾いさむ

②吉田としはる



(二年) 女子

①荒木えい子

②山下ひろ子

③藤原さち子

(三年) 男子

①平野雄介

②徳永佳史

③中道貴志

(四年) 男子

①湯川 章

②金色宏明

③木藤康平

(五年) 男子

①西崎千代生

②満井清徳

③荒木祥介

(六年) 男子

①島田一輝

②宮村将吾

③上田ゆうき

(六年) 女子

①友永ゆり

②浜崎美帆

③池田寛美

①羽太三保子
②西山広美
③本多美緒
①酒井 忍
②小島慶子
③橋川久美子
①羽太万紀子
②平野稔子
③松本佳奈子

市内特殊学級合同 展示・お別れ会 を終えて

竹村 まり子

去る三月六日に、市内特殊学級合同展示・お別れ会が、白山公民館で開催されました。参加者は、児童・生徒、保護者、教師を合わせて約六十名でした。

絵画・作文、共同作品等の作品の展示をする間、中学校は保護者の方々とカレライースを作りました。

お別れ会では、卒業生九名のために、各学級五分ずつの出し物が発表されました。

小学生においては、学習の成果や作文の発表、打楽器によるリズム遊び、全員参加でのゲーム等でした。一方、中学生は、映写、合唱等、学級の特徴が出ており、工夫が凝らされていたようです。

今回の会で、子ども達のゆっくりではあります。着実に成長している姿、汚れのない心で懸命に伸びようとする姿を感じずにはいられません。同時に、障害児にまつて、卒業後の進路がまだまだ開かれていない現実を痛切に感じ、複雑な思いでした。これからの社会の大きな課題だと思えます。

インフルエンザ 流行時の保健指導 及び留意事項

野口 仁子

今年度もいよいよ最後の月になりました。もうすぐ卒業していく児童や進級する児童は、希望に胸をふくらませていくことでしょう。

私は、養護教諭として今年度の「インフルエンザ流行」について述べてみたいと思えます。

本年度も三小では、一月に集団かせ（インフルエンザ）による欠席者が多数ありました。インフルエンザ流行時の欠席者数は、一日に八十二名が最高で、左記の表のようになっています。（のべ人数）今回の風邪は、治癒するまでに長い日数を要しました。一日に、三十名以上が保健室を利用し、そのたびごとに、

月・日	欠席者数	り患者数
1・10	27	96
11	34	124
12	77	148
13	68	197
16	82	220
17	61	267
18	55	242
19	63	221
20	46	223
22	44	270
23	59	262
24	39	219
25	36	241
26	40	219
27	23	219

(児童数 788名)

児童への問診やカルテの記入、保護者・担任への連絡などをしていきますと、あつという間に一日が終ってしまふ状態でした。

インフルエンザは、学校伝染病第二類に属し、インフルエンザウイルスによっておこる呼吸器系の急性伝染病で、流行性感冒とも言われ、冬期に流行する伝染病です。飛沫による直接感染が、主な感染経路で、合併症としての肺炎は、細菌性肺炎に比べて呼吸困難を起したりするので、子供や老人は特に注意しなければなりません。それだけに、感染予防が大切になってきます。

学校では、学校医の指導を受けながら特別な健康観察を行い、り患状況、その欠席者の把握、出席者の健康状況などをまとめ、教育委員会へ連絡を取り、早期発見・蔓延防止につとめています。また、保健室では、咽頭の

検査・検温・問診などを行い、とりあえず帰宅させ、一般児童と隔離し、感染予防をしています。

また、家庭に対しては、インフルエンザの予防や家庭での生活指導などを、保健だよりや本人に知らせたりして、情報を送るよう心がけています。

これからも、和顔愛語に心がけ、我が子のように、あたたかく、また、きびしく三小の児童の健康に気をつけていきたいと思えます。

喫煙実態調査 について

限 部 昭 三

未成年者による常習喫煙者があつとを絶たないのが現状です。その大部分の者は、小学生時代からの常習者であるといわれています。

そこで、三小でも喫煙の実態調査を三年生以上に実施しました。紙上を借りて、三小の実態をお知りいただき、今後、学校、家庭、地域社会、三者一体になって喫煙防止に万全を期したいと思えますので、御協力の程をお願い致します。

(1) タバコを吸ったことがあると答えた者が、男子六十

五名、女子十九名もいた事は一考を要します。

(2) 「初めて吸ったのはいつですか？」保育園・幼稚園と回答した人が一番多く、三年・六年生と答えた人がいたことは、注意を要します。

(3) 回数では、一回の人が圧倒的に多数でしたが、六回以上という人もいるのが要注意でないかと思えます。

(4) 「今吸っていますから」の設問に、時々吸っていると回答をしています。これらの人々も注意を要します。

(5) 「タバコを吸った理由は？」一人が吸っているのを見てまねしてみたかった。友達にさそわれて、おもしろそうだった等の子ども達の未知への興味があらわれていると思えます。

(6) 「喫煙の場所、入手の方法は？」自分の家の物、自動販売機。場所は、両親不在の時の自分の家、友達の家等、人目の無い所で行なわれています。

(7) 「タバコを吸っているのを親は知っていますか？」知っていると思えた人が二名いました。

以上、調査の結果より学校では、タバコの害の恐ろしさを保健・学級指導等で、ビデオ等を使用して視覚に訴えながら、未成年者の喫煙防止に努めていきたいと思えます。



六年一組

平山 繁 壽 学級

六年一組
本多 由佳

ついこの前、母に手を引かれて入学した様な気がします。この六年間をふり返ってみると、いろいろな思い出が浮かび上がってきます。

一年生、初めて入った一年二組の教室、やさしい先生と明るい教室で友達といっしょに勉強をしました。

二年生、みんなで行った多比良、公園でお弁当を食べる時、さるや鳥がいてとても楽しかった。

三年生、新しいクラスになり、新しい先生と新しい友達そして、三年生の終わりにバレー部に入りました。

四年生、社会科見学で行った原爆資料館、戦争のひどさやむごさを知りました。

五年生、バスに乗って行った諫早少年自然の家、ウォークラリーをしたり、星を見たりしました。

六年生、九月に行った修学旅行、友達とおそくまでしゃべっていました。

三月二十日、思い出の多い三小を卒業します。

6年間！

【大好きな仲間たち】



六年二組

古瀬 唯 二 学級

六年二組
大町 久美

私は、今年卒業します。六年間をふり返ってみると、いろいろな思い出がたくさんあります。三年生になって、クラスがえがあった時も、胸をドキドキさせながら待っていました。社会科で見学に行ったいろんな所も思い出です。毎年あった鍛練遠足で、きつかったことも覚えています。運動会で優勝したこと、プールおさめ会、こまかいこともみんな覚えていきます。そして、修学旅行のことも覚えていきます。お城や草千里に行って、写真をうつしてもらいました。六年間での一番の思い出は、この三小に入学し、たくさんの友達を作ったことです。三小での思い出は、いつまでも忘れずにいたいと思います。



六年三組

本田 茂美 学級



六年三組
池田 寛美

私の小学校生活をふり返ってみると、「もう卒業か、早いな」と、時の流れの早さを感じています。

一年生のころ、友達ができるかなと心配しました。けれど、お互いに話しかけたりして、友達はたくさんできました。

私は昔から、「運動オンチ」でした。その私を変えたのが、三年の時に入った「白山バレー」でした。苦しい練習で体をきたえられ、一年生のときはマラソン大会で四十九番だったのに、なんと六年生では三番になりました。また、スポーツは体だけではなく、心もきたえるということを知りました。チームワークの大切さもわかり、大変自分のためになりました。

そのほかに残ったことは、四年生のとき原爆資料館へ行き、戦争や原爆の恐ろしさを知ったことです。

六年生では修学旅行。一番印象に残ったのは、「草千里」でした。何もかもが新鮮で、本当の自然がいっぱいでした。

この六年間の思い出を忘れず、心の中に大事にしまっておいて、中学校へ進みたいですね。

たのしかつた

六年四組

米水利一 学級



六年四組
佐原 俊樹

ぼくは、四年の時から剣道を習っています。時々なまけ虫が出てきて、頭が痛くなりません。でも、後一ヶ月ぐらいで中学生なので、休まずに行きたいと思っています。中学生になったら剣道部に入り、勉強にスポーツにがんばって、楽しい中学校生活を送りたいと思います。

ぼくが一番心に残っているのは、六年生の時の運動会の応援団です。ぼくが三年生の時に、兄が応援団だったので、「ぼくも六年生になったらしてみたいなあ」と思っていました。

そして、他に思い出に残っているのは、修学旅行と諫早自然の家での宿泊訓練です。修学旅行では、一晩中おきていたので、バスの中で寝てしまいました。諫早自然の家では、沢歩きやウオークラリーで、足に豆を作りました。とても楽しかった思い出ばかりです。

中学生になったら、二小の人ともいっしょになるので、たくさん友達を作りたいと思います。

専門部の皆さん おつかれさまでした！ 一年間をふり返って

教養部長

林 田 信 照

教養部を受け持たせていただき、年頭には、何かやってやろうと意気こんでいたが、いざあれをこれと考える中で、現在の社会生活の中にテレビ・新聞・雑誌等の普及のおかげで多種多様な情報が行きわたり、現代の常識、教養と言うものに対して、何かを特別に企画して勉強しなければならぬものは少ない



と思います。

一年間の計画としましては、地元を見直そうと史跡めぐりをやり、昔、学校の工作でやった「七宝焼き」の実験を計画しましたが、機械がなくなっていてできませんでした。

父兄のみなさん全体を巻きこんでの教養部活動も、私なりに考えてみましたが、現代社会の中でのお父さん・お母さん達が忙しい中に、色々とお実行していくのは大変だと思いました。しかし、役員のためだけの教養部にならないようにしていかななくてはならないと思います。

育友会活動に、積極的に参加しましょう。

学級部長

内 田 憲 一 郎

代議員って大変ですよ。常任委員って大変ですよ。部長は大変ですよ。みなさんからこんな忠告をされていながら村八分がこわくて、おまけに町内のソフトボールチームの監督まで引き受けさせられた一年間。いやはや大変でした。

どうして引き受けたのかな？ふり返って考えてみますと、一つの出来事が思い出されます。私より一つ先輩との会話「内田君、ぼくはPTAの役員じゃないけど、学校の行事には必ず出席する様にしていて。上は高校生、下は六年生、兄ちゃんの方はむずかしい年頃なので、コミニケーションが仲々取りにくい。だけど、ふしぎと小学校の頃の話になると、親子の会話ができる。下の方はあと一年で卒業だから、今のうちに精一杯行事に参加して、子供とのふれあいを作っておこうと思う。」この話が頭にあってお引き受けしたのだと思います。けれどもそのおかげで、多くの人と知り合いになり、大変勉強になりました。



不慣れの為、いろいろ御迷惑をおかけしましたが、一年間本当にありがとうございました。

交通部長

松 本 克 己

早いもので、交通部の役を引き受けてから一年が過ぎようとしています。

交通部では、例年どおり年間行事として、五の日の交通指導、運動会時の交通指導、そして自転車点検を行ないました。その中でも、最大の行事は自転車点検でした。前日の天候が雨天でしたので、予定通り実行出来るのか心配でしたが、六月十日、予定通り実行出来ました。

不慣れな私でしたが、自転車協会の方々の御協力と育友会の方々の御努力により、無事終了致しました事を本当に感謝致しております。

また、渡辺先生より希望が出されておりました、集団登下校の旗を新調する件も、育友会長の決済をいただきまして新調できることになりましたことを、皆様に御報告いたします。

最後に、五の日の交通指導に、各町内たくさんの育友会の方々に御協力いただきまして、本当にありがとうございます。

体育部長

前 田 清 徳



昨年四月末、体育部長を引き受けた時、小学生時代は体育の時間と給食の時間が一番好きだった私も、果たしてできるかどうか不安でした。でも、いざ行事活動に取り組んでみますと、体育部の皆さん、平山先生初め若い先生方、代議員さん、監督さん、その他多くの方々が協力して下さって楽しく活動ができました。改めて子ども達の力と偉大さを感じるとともに、「体育部っていいなあ」と思いました。

さて、活動内容の反省ですが、校内球技大会、親子スポーツの日の大会の要項に、雨天の場合の取り決めがありますが、今年度はいずれも中止

の取り決めをいたしました。監督会議で話し合った上でのことですが、主催する側として、大会間近になり練習した子ども達を思うと、非常に天気図が気になりました。順延、または日曜順延の方向で努力すべきではなかったかと反省しています。これからも、より充実した大会であってほしいと思います。

生活部長

前田 清治

生活部では、この一年間、「ルールを守ろう」をモットーに、生活標語の募集、優秀作品の発表、各町内への掲示、また、夏の土曜夜市の巡視、町内訪問など行なってきました。



た。三月は、初市の巡視も行ないました。育友会の皆様方の貴重な意見や要望など、たくさんいただきました。

生活標語のお世話をしてくださった方々、暑い中、土曜夜市の巡視、町内訪問にご協力してくださった先生方・役員の皆様、また、初市巡視をしてくださった方々、本当にお世話になりました。

この一年で私を感じましたことは、安全な通学路の確保や子ども達の遊び場の問題など、生活環境の整備というものは、なかなかむずかしい問題をかかえているということ。しかし、自己防衛教育として、町内ぐるみで子育てに取り組んでいらいしやる皆様の熱意を感じ、子育ての根本は家庭生活にあることをつくづく学ばせていただきました。本当にありがとうございます。

環境部長

出口 一正

早いもので、環境部長として一年が過ぎました。一年前は、やっていけるだろうかと不安でいっぱいでした。

そうした中で、年間行事として、六月にはプール周辺除草作業、また、相撲場や運動場の整備、遊具施設のペンキ塗り等が計画されました。



六月のプール周辺除草作業には、暑い中、先生や会員の皆様方の協力があって、きれいになってプールびらきが出来ました。

運動場の整備のため、子ども達も二ヶ月から三ヶ月は遊び場もなく、困った事でしょう。でも、今ではりっぱになり、広くなって使いやすい運動場が出来上がった様です。鉄棒やすべり台、すな場も運動場が広くなって、より使いやすくて、運動も大いに出来ることでしょう。

この一年間、本当に皆様方の御協力ありがとうございます。

保健給食部長

光 永 勝 子

育友会では、右も左もわからない私が、保健給食部長と

いう大役をあたらされて、もう一年が過ぎようとしております。

この一年間に保健給食部は、三つの行事を行いました。一つ目は、一年生の保護者を対象にした「給食試食会」。二つ目は「給食調理実習研修会」。日ごろ、子ども達の食生活に関心を持たれている保護者の皆様方に、少しでも学校給食についてご理解をいただけたと思っております。

三つ目は、三月九日に行なわれまして「子どもの心と身体」の発育についての講演会です。

各行事を行なうにあたって、心よく協力して下さいました先生方や部員の方々のありがたさが身にしみてわかりました。ありがとうございます。

広報部長

古川 隆三郎

早いもので、「イヤダ!!ナゼダ」と抵抗しつつ、広報部長を引き受けて一年が過ぎようとしています。この間に、部会や取材等で学校へ出かけた回数も、手と足の指を全部足しても足りない程の数となりました。

広報誌『がんば』も、本号を含めて五回製作しました。製作を進めていくと、子ども達の生き生きとした学校生活



の様子や、子どもの健全な成長を切望する保護者の方の情熱が手を取る様に伝わってきて、製作する側ならではの楽しさを味わう事ができました。さらに、先生方へのインタビューや取材で、思わぬ素顔に触れる事ができた楽しい思い出もありました。皆さんも一度でもいいから『がんば』作りに参加してほしいかがでしようか。

最後に、大変忙しい中に私共の、半ば強制的な原稿依頼にも気持ち良く応じてくださった各代議員さん、貴重な御意見をくださった会員の皆さまに心より御礼を申し上げます。「御協力ありがとうございました」。

三小 あなの町・JISの町

静かな環境で

新山西

渡部 順子

私達の住む町新山西は、後ろに眉山がそびえ立ち、緑のまだまだ残る静かな住宅地です。すぐ近くに二中グラウンドがあり、その環境の中で、子ども達は、遊びに運動の練習にと、毎日元氣良く過ごしています。

男子二十三名、女子十九名



緑の多い新山西地区

と少人数の地域ですが、いろいろな運動の試合などには、子ども達はいつも心を一つにして一生懸命取り組んでくれます。その都度、父兄の皆様のお協力のおかげで、子ども達も一段と頑張ってくれているのだと思います。特に、高学年は低学年の面倒みも良く、行事のある時は皆が一緒になって協力してくれまます。

これからは、どこの町内も子どもの数が少なくなっています。でも、子ども達はこれまでも上・下級生「力」を合わせて今まで以上に、明るく楽しい子供会にしていきたいと思っています。

ガタツパラの 父ちゃん頑張れ

浦田元船津

本多 敏久

私達の住む町は、国道二五一号線をはさんで、山の手が浦田下、浜の手が元船津、二つの町内を合わせて浦田元船



町内に鎮座するえびす様

津町として成り立っています。最初の頃、二つの町内がまとまるのは大変だったようですが、最近では気心が知れ、何事もうまくやっていると聞きます。やはり、「自分たちの町を大切にしよう」という気持ち、この町内にはヒョツとしてカカア天下の町内ではないかと思うほど、お父さんの出番が少ないような気がします。昔は通称「ガタツパラのお父さん達、ガンバレ!!」

町内には、えびす様がデんと座っておられ、一月二十三日は、子供のじぞう様のまつりです。子供のいる家庭にはお菓子がくばられます。世帯数の多い町内の割に、

子供の数が少ない町内です。これからも、ますますよその町内にお世話になることと思います。よろしくお願ひ致します。

せろそろ桜も達

津町・有馬船津

池田 絹代

私達の津町・有馬船津町内は、二町内合併の町です。町は、昔のおもかげがまだまだたくさん残っており、近くには有名な銀水があります。

二町内合併をしても、子ども達の人数は年々減少していきませんが、現在、男の子十八名、女の子十八名で、校内球技大会など皆で力を合せて仲良くやっております。また、保護者の皆さんが、育友会行事の時など気持ち良く進んで協力してくださるので、大変良いと思います。

子ども達も皆大変仲が良く、上級生は下級生の面倒をよく見てくれるので、安心して集団登下校の時などまかせられます。

明るくやさしいこの子ども達も、それぞれ成長していきませんが、町内の活動が良い思い出として残るように、私達父兄も子ども達と一緒に頑張っていきたいと思っています。

編集後記

初市も終り、そろそろ桜のつぼみもふくらみかける季節になると、有明海ではほちほち「がんば」が釣れだす頃となります。そして、母ががんばは産卵を迎えます。産まれた子ががんばは、東シナ海などの遠い大海で成長し、有明海へ帰ってくるそうです。

この一年間、広報部で生まれた一〇一から一〇五号の五ひきのがんばはいかがだったでしょうか。編集部全員が初めての経験で、充分ではなかったと思いますが……。一年間の御愛読ありがとうございました。(編集部一同)



霊南橋より望む津町・有馬船津